

1 基本事項

インターネットを利用する人は、自分が接続した情報ネットワークにおける個別のルールを守るだけではなく、その先につながり、世界中に広がる他の情報ネットワークとその利用者に対しても、社会的な配慮をしなければなりません。各種の情報やサービスが往来するインターネットを利用するときに、まず知っておかなければならないことを基本事項として整理しました。

1.1 一般的な注意事項

電子メールや WWW (World Wide Web) に代表されるインターネットは、大学のインフラとして欠かせないものとなっています。快適なインターネット環境は、相互に接続された情報ネットワークを個々の利用者が適切に利用することによって初めて実現されます。インターネットを利用する人は、**インターネットが一つの社会であることを認識し、その一員としての自覚と責任**を持つ必要があります。学内の情報ネットワークに関するルールや規則に従うだけでなく、インターネット上の他の情報ネットワークとその利用者に対しても、社会的な配慮をしなければなりません。

NCUNET は、教育・研究・事務処理での使用を目的に設置されていますので、**目的外使用は慎むよう心掛けて**ください。また、以下の行為はNCUNET 利用基準で禁止されています。

- **他人の人格及びプライバシー** を侵害する行為
- **他人の安全・権利及び法的利益** を侵害する行為
- **他人の知的財産権及び知的成果** を侵害する行為
- **他人を詐称** する行為
- **営利を目的** とする行為
- **法令及び社会通念** に反する行為
- 総合情報センターが、

NCUNET 及び学外情報ネットワークの管理運営に支障をきたす と認められた行為



上記に違反した場合、NCUNET の利用を停止または制限することがあります。

1.2 自己責任が原則であること

インターネットを利用して情報を受信したり発信したりするときには、それによって **生じるリスクや社会的・法的責任を利用者自身が負わなければならない** ことに留意して下さい。不用意な行為、行動は、本人のみならず大学にも被害や損害を与え、名誉を著しく傷つけたり、場合によっては法的措置の対象にもなりかねません。

1.3 インターネットを利用する他者への配慮

国籍、宗教、価値観、世代、性別が異なる様々な人がインターネットを利用しています。小さな誤解が大きな紛争の原因となることもあるので、**常に他者の立場や状況に配慮し、適切なコミュニケーションを行う** よう心掛けて下さい。

1.4 文字による通信が主体となること

インターネットでは文字によるコミュニケーションが大きな役割を担っています。ちょっとした表現が誤解を招いたり争いのもとになりますから、**言葉を選んで相手を傷つけないように** 心掛けて下さい。

1.5 ルールや規則を遵守すること

教職員・学生を含むすべての本学構成員は **大学の定める規則を遵守** しなければなりません。これに従わない場合は、処分の対象となります。

大学のコンピュータ資源は無限ではありません。情報ネットワークの容量および保存用ディスクの容量には限りがあるため、情報ネットワークを使用するすべての構成員はこれらの **資源を保護し、適切に利用する責任** があります。コンピュータ資源を浪費したり、他人を排除し不当に独占使用するような行動をしてはなりません。

1.6 インターネット利用状況のチェック

だれが大学のウェブサイトを見に来たか、だけでなく、だれがどのようなウェブサイトを見たかが記録されています。さらに、異常通信の発信元を特定したり、ルールを守らない利用者を特定するために、**NCUNET上を流れるすべての通信内容を取得し、チェック** することがあります。

性的に露骨であったり、大学に不適切と思われる題材を含んだウェブサイトへのアクセスを識別・阻止するため、大学はフィルタリングソフトを使用するなど、利用の制限を行う場合があります。